B5FH-D612-01

3D 機能をお使いになる方へ

～ 本紙には重要なお知らせが掲載されています。大切に保管してください ～

このたびは、弊社の ESPRIMO をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本紙では、3D 機能の使用方法や、お使いになるうえでの注意事項を説明しています。
本紙をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

目　次

FUJITSU

B5FH-D612-01

本書の表記

製品などの呼び方について

このマニュアルでは、製品名称などを次のように省略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記
Fujitsu PowerDVD9 3D Player	PowerDVD
Corel® WinDVD®	WinDVD

商標および著作権について

このパソコンでできること

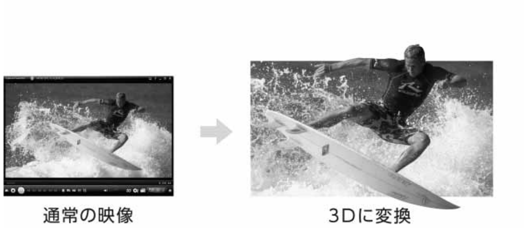
■ 「Blu-ray 3D™」対応のコンテンツを楽しむ

「Blu-ray 3D™」に対応した映像をパソコンで楽しむことができます。映画館で見るような迫力のある3D映像を、自宅で気軽に楽しめます。



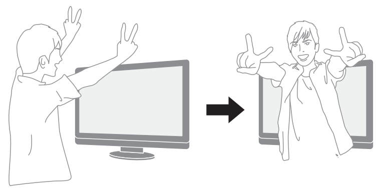
■ 通常の DVD コンテンツを 3D 映像として楽しむ

市販されている DVD の映画などのコンテンツを、擬似的に3D映像として楽しめます。



■ オリジナル 3D コンテンツを楽しむ

パソコンに搭載されている左右2つのWebカメラで、オリジナルの3D写真や動画を作ることができます。



※画像は、イメージです

※3D映像の表示方式は複数存在するため、Blu-ray Disc およびご購入時にインストールされているソフトウェア以外の3D コンテンツをご利用・ご購入の際は、必ず事前に対応状況をご確認ください。また、それらコンテンツの動作については、各コンテンツのメーカーへお問い合わせください。

このパソコンの 3D 表示の仕組み

人は、左右の目でわずかに異なる角度からものを見ることによって、立体感を感じます。このパソコンでは、専用の液晶ディスプレイとメガネを使うことによって、左右の目に違う映像を見せることで、3D 表示を実現しています。

このパソコンで採用している立体映像表示方式は、「円偏光方式」です。ディスプレイ上に合成表示された左目用と右目用の映像を偏光メガネを通して見ると、左右の目で異なる映像を見ることができ、映像を立体的に認識することができます。

左目用、右目用の映像として、わずかに異なる角度から撮影した映像があります。

左目用の映像



右目用の映像



左目用と右目用の映像を、水平 1 ラインごとに抽出します。





左目用の映像と右目用の映像を 1 ラインごとに合成して表示します。



メガネをかけずに見た場合

添付のメガネをかけると、左目には左目用の映像、右目には右目用の映像だけが見え、立体視することができます。



※画像は、イメージです

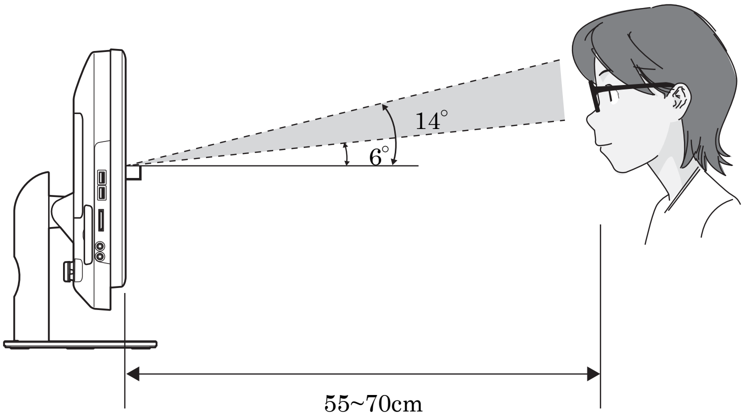
3D 表示機能をお使いになるうえでの注意

3D 表示を安全にお使いいただくために

- 3D 映像を安全にご利用いただくための注意事項などの詳細は、「3DC 安全ガイドライン」をご参照ください。（http://www.3dc.gr.jp/jp/index.html）
- 3D 映像の視聴中に、異常を感じた場合は、ただちに視聴を中止してください。
- 3D 映画などを視聴する場合は、1 作品の視聴ごとに適度に休憩をとってください。オリジナルの 3D 映像を作る場合は、30～60 分を目安に適度に休憩をとってください。
- 光過敏の既往症のある方、心臓に疾患のある方、体調不良の方、睡眠不足の方、疲れた状態の方、酒気を帯びた方、妊娠している方、年配の方、重度の病気を患っている方、睡眠障害の方、てんかんを患っている方は、3D 映像の視聴を控えてください。
- 近視や遠視の方、左右の視力が異なる方や乱視の方は視力矯正メガネの装着などにより、視力を適切に矯正したうえで、3D メガネをご使用ください。
- 3D 映像の視聴年齢については、およそ 5～6 歳以上を目安にしてください。
- お子様が視聴するときは、疲労や不快感などに対する自覚症状がわかりにくいため、保護者の方が視聴環境の調整や目の疲れがないか注意してください。
- 3D 映像の視聴中に、映像が二重に見えたり、立体感を感じにくい場合は視聴を中止し、視聴位置やソフトウェアの設定を確認してください。
- 左右のカメラからの映像が入れ替わった状態で作成した 3D コンテンツを視聴すると、視覚疲労や不快感の原因になるため、左右のカメラ映像が正しい設定であることを確認してください（→P.13）。
- 3D メガネを使用するときは周囲に壊れやすいものを置かないでください。3D 映像を実際の物に間違えて身体を動かし、周囲の物を破損してけがの原因になることがあります。
- 3D 映像の視聴は、吐き気、知覚・視覚の異常や方向感覚の喪失、眼精疲労、姿勢が不安定になるなどの症状を引き起こす可能性があるため、転倒のおそれがある場所でパソコンをお使いにならないでください。

3D 表示を視聴するために

- 3D メガネは純正品をお使いください。
- 3D 表示機能をお使いになるときは、顔を傾けず、両目を水平にした状態でご覧ください。
- 3D 映像を効果的に視聴できる推奨位置は、液晶ディスプレイの垂直方向から上に約 6～14° の角度、約 55～70cm の距離です。



（3D 映像を視聴できる範囲は、映像による差や個人差があります）

- 映像や個人差によって、3D 映像として見えにくい場合があります。

3D メガネの取り扱いについて

- 3D 映像を視聴するとき以外は、3D メガネを装着しないでください。
- 3D メガネをかけたまま移動しないでください。周りが暗くなり、転倒などによるけがの原因になることがあります。
- 3D メガネは、このパソコンで 3D 表示を視聴する以外の用途に使用しないでください。他の 3D 表示機器の視聴や、サングラスとして使用しないでください。
- 3D メガネに使用している偏光フィルム(レンズ表面)は水分、温度、湿度の影響を受けやすく、損傷しやすい性質をもっています。取り扱いにはご注意ください。

  ・3D メガネの偏光フィルムは、強く押したり、擦ったりしないでください。
  ・3D メガネは、直射日光の当たる場所やヒーター付近などの高温になる場所に放置しないでください。
  ・3D メガネをご使用にならないときは、付属のケースに入れて、お子様の手の届かない所に保管してください。
  ・3D メガネには、投げたり、落とすなどの強い衝撃を与えないでください。
  ・3D メガネの汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。シンナーやベンジン、清掃用スプレー、洗剤、メガネ用スプレー等(液体のもの)は絶対に使用しないでください。
  ・水滴が付着したときは、すぐに乾いたやわらかい布(市販のメガネ用清掃クロス)で軽く拭き取ってください。
- 3D メガネに異常・故障があったときはただちに使用を中止してください。
- 3D メガネを分解したり、改造しないでください。

3D メガネについての注意は、『取扱説明書』の「安心してお使いいただくために」もご覧ください。

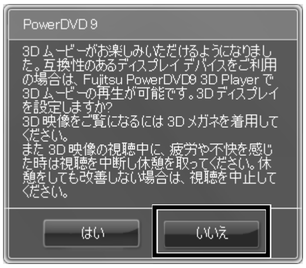
サンプルコンテンツを見る

このパソコンには、3D 再生用のサンプルコンテンツが搭載されています。

サンプルコンテンツは次の手順で再生してください。

1. (スタート)→「すべてのプログラム」→「Fujitsu PowerDVD9 3D Player」→「Fujitsu PowerDVD9 3D Player」の順にクリックします。

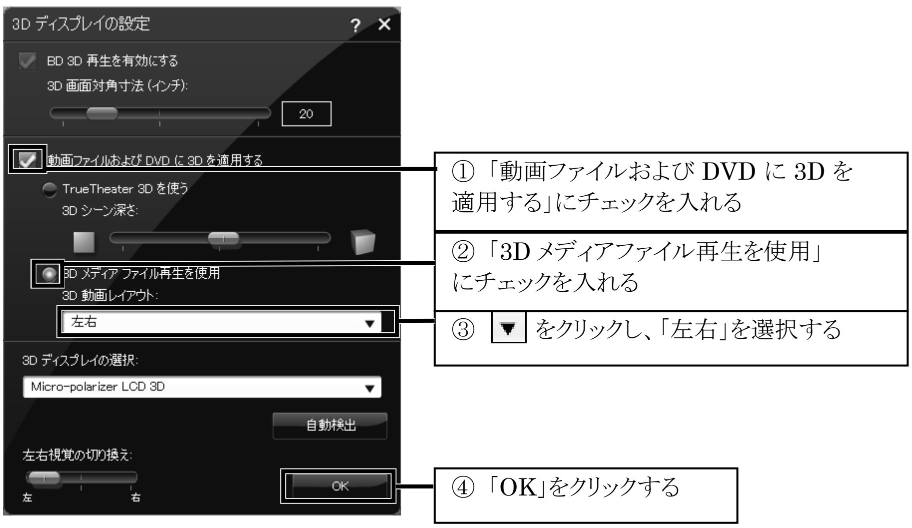
   初めて 3D コンテンツを再生する場合は、次のようなメッセージが表示されますので、「いいえ」をクリックしてください。



2. ウィンドウ右下の 3D (3D ディスプレイ設定を開く)をクリックします。



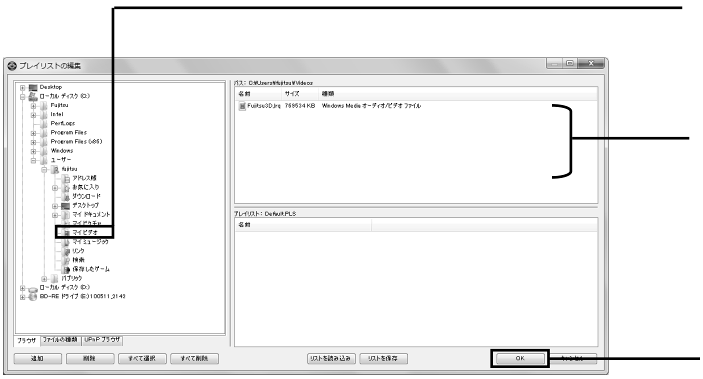
3. 設定を変更します。



4.　ウィンドウ左下の（メディアを選択）→「メディアファイルを開く」の順にクリックします。



5.　「マイビデオ」をクリックし、右上に表示された動画ファイルをダブルクリックし、「OK」をクリックします。



6.　ディスクの再生が始まります。

POINT 次のようなメッセージが表示された場合は

「はい、機能を一時停止します。」にチェックを入れて、「OK」をクリックします。



Blu-ray 3D™を楽しむ

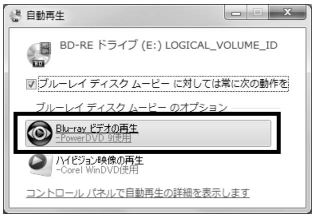
このパソコンでは、Blu-ray 3D™に対応したディスクを再生することができます。

再生は次の手順で行ってください。

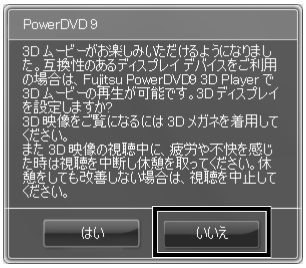
1. **ディスクをセットします。**

   ディスクをセットする方法については、『取扱説明書』をご覧ください。

2. **「自動再生」ウィンドウが表示されたら、「Blu-ray ビデオの再生」をクリックします。**



   初めて 3D コンテンツを再生する場合は、次のようなメッセージが表示されますので、「いいえ」をクリックしてください。



3. **ディスクの再生が始まります。**

   再生が始まらない場合は、（再生）をクリックします。



POINT

3D のコンテンツを 2D で再生する場合は

ウィンドウ右下の 3D （3D ディスプレイ設定を開く）をクリックし、表示される「3D ディスプレイの設定」画面で、「BD 3D 再生を有効にする」のチェックを外してください。



「BD 3D 再生を有効にする」のチェックを外す

通常の DVD コンテンツを 3D 映像として楽しむ

このパソコンでは、通常の DVD コンテンツを擬似的に 3D 映像として再生することができます。ただし、次のディスクは、3D 再生できません。

- AVCREC 形式で録画された DVD
- AVCHD 形式で記録された DVD
- テレビ番組をダビング／移動(ムーブ)した DVD
- Blu-ray 3D™に対応していない Blu-ray Disc

再生は次の手順で行ってください。

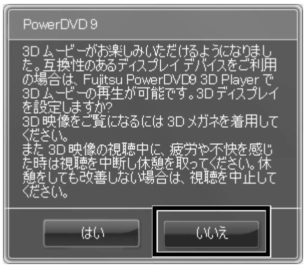
1. ディスクをセットします。

   ディスクをセットする方法については、『取扱説明書』をご覧ください。

   「自動再生」ウィンドウが表示された場合や、「WinDVD」が起動した場合は、ウィンドウ右上の をクリックします。

2. (スタート)→「すべてのプログラム」→「Fujitsu PowerDVD9 3D Player」→「Fujitsu PowerDVD9 3D Player」の順にクリックします。

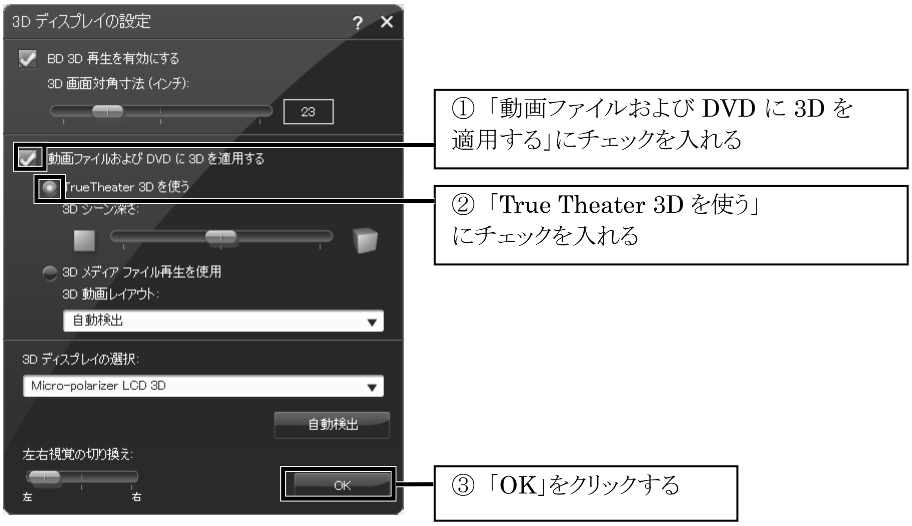
   初めて 3D コンテンツを再生する場合は、次のようなメッセージが表示されますので、「いいえ」をクリックしてください。



3. 3D (3D ディスプレイ設定を開く)をクリックします。



4.　設定を変更します。



5.　（再生）をクリックします。



6.　ディスクの再生が始まります。

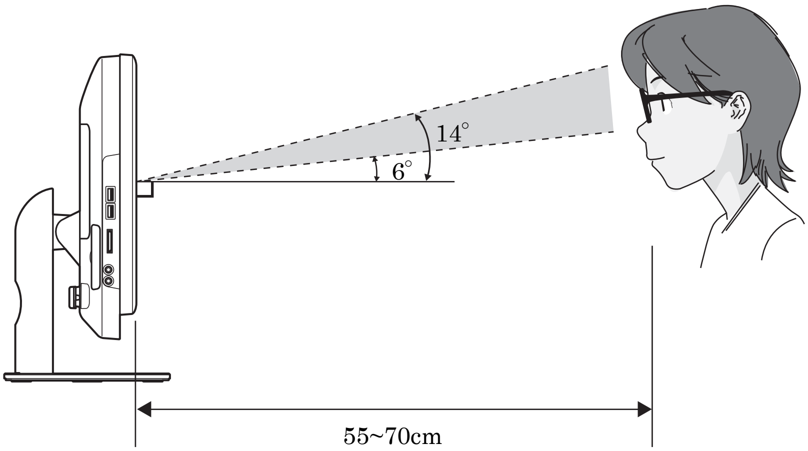
オリジナル 3D コンテンツを楽しむ

このパソコンでは、搭載されている左右2つのWebカメラで撮影することにより、オリジナルの3D写真や3D動画を作ることができます。初めて3Dカメラビューアーを使うときには、初期設定が必要です。また、初期設定終了後は、「マイリカバリ」でディスクイメージを作成しておくことをお勧めします。

カメラの初期設定をする

3D 効果の強さは、見る位置によって変わります。ここでは、現在の位置で 3D 表示を最適に楽しむための調整を行います。実際に 3D 視聴をする位置で調整を行ってください。3D 映像を効果的に視聴できる推奨位置は、下図のとおりです。

なお、手順 6 までは 3D メガネをかけないでください。



1. (スタート)→「すべてのプログラム」→「3D カメラ」→「3D カメラ設定」の順にクリックします。
2. 「次へ」をクリックします。

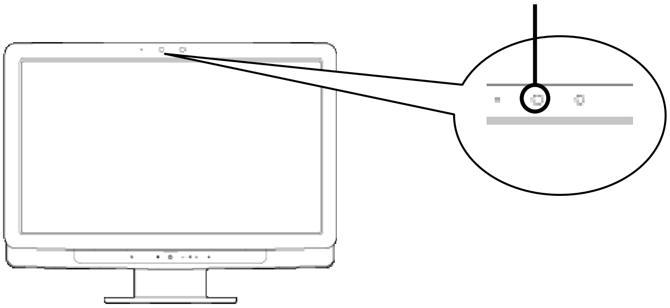


左右のカメラが正しく設定されていることを確認します。

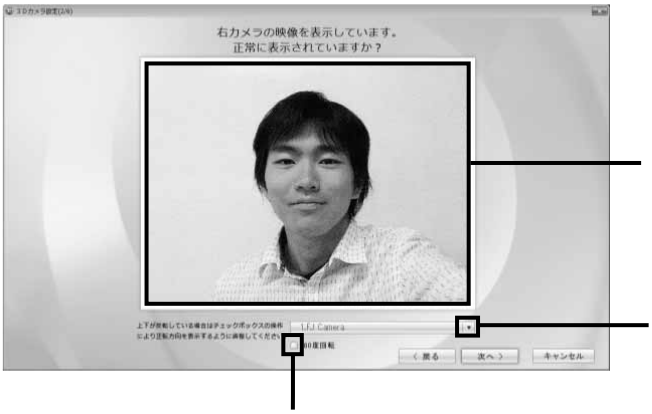
必ず左右のカメラの設定を確認してください。左右のカメラを逆に設定した場合、正常に立体感を感じることができません。

3. 右カメラの映像を確認します。

① 左カメラを手（指）で隠しても、映像が表示されていることを確認してください。



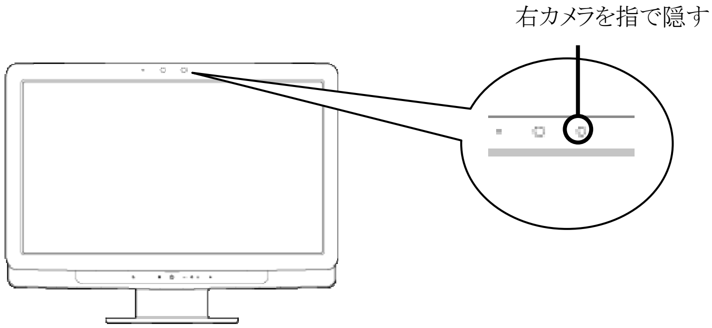
② 正常に表示されない場合は、設定を変更してください。



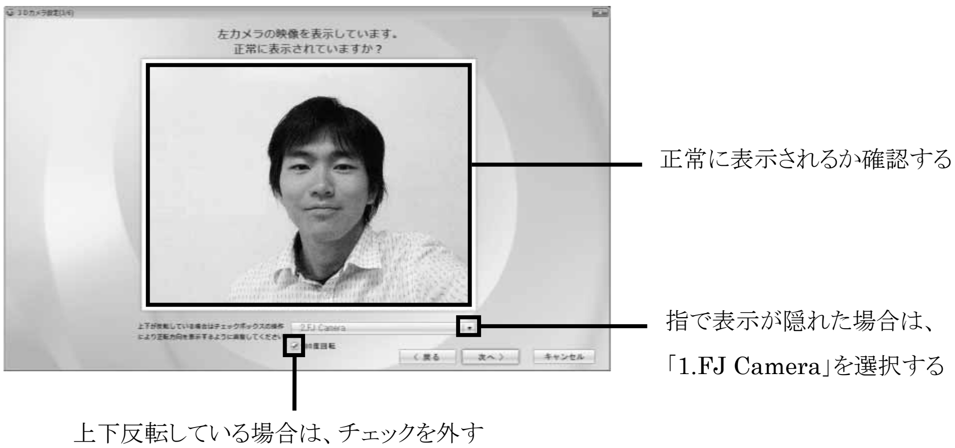
③ 補正が終わったら、「次へ」をクリックしてください。

4.　左カメラの映像を確認します。

①　右カメラを手（指）で隠しても、映像が表示されていることを確認してください。



②　正常に表示されない場合は、設定を変更してください。



③　補正が終わったら、「次へ」をクリックしてください。

合成映像の表示位置を補正します。

5.　上下の位置を補正します。

①　スライダーをドラッグして、左右のカメラの映像を上下に調整し、あなたの顔が上下方向に完全に一致するように調整してください。

②　補正が終わったら、「次へ」をクリックしてください。



6.　左右の位置を補正します。

①　スライダーをドラッグして、左右のカメラの映像を左右に調整し、あなたの顔が左右方向に完全に一致するように調整してください。

②　補正が終わったら、「次へ」をクリックしてください。

上下のずれが残っている場合は、「戻る」をクリックし、手順5からやり直してください。



7. **初期設定ができたことを確認します。**

3D メガネをかけて、片目ずつで見て、四隅の模様が、赤い丸だけまたは緑の四角だけに見えることを確認してください。

見えることを確認したら、「完了」をクリックしてください。

うまく見えない場合は、「戻る」をクリックし、手順 5 から補正をやり直してください。



片目で見ると、
赤い丸だけ、または、
緑の四角だけに見える

これで、3D カメラの初期設定は完了です。

3D コンテンツを作る

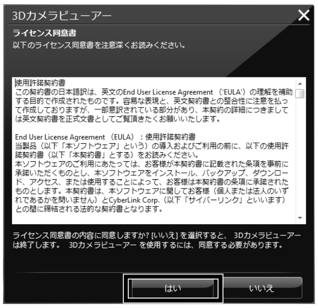
パソコンに搭載されている左右 2 つの Web カメラで、オリジナルの 3D 写真や動画を作ることができます。

作った写真や動画を見る方法は、「自分で作った 3D コンテンツを見る」(→P.19)をご覧ください。

1. （スタート）→「すべてのプログラム」→「3D カメラビューアー」→「3D カメラビューアー」の順にクリックします。

   3D カメラビューアーが起動します。

   初めて 3D カメラビューアーを起動する場合は、ライセンス同意画面が表示されますので、内容を確認し、「はい」をクリックしてください。



2. 3D コンテンツを作ります。

① 「3D」をクリックします。

画面の表示が 3D 表示に切り替わり、3D コンテンツを撮影できる状態になります。

3D 表示機能をお使いになるときは、3D メガネを着用してください。

② 「スナップショット」をクリックすると写真を、「キャプチャー」をクリックすると動画を撮影できます。



3D カメラビューアーのその他の機能については、ヘルプをご覧ください。

自分で作った 3D コンテンツを見る

1. （スタート）→「すべてのプログラム」→「3D カメラビューアー」→「3D カメラビューアー」の順にクリックします。

   3D カメラビューアーが起動します。

2. 撮影した写真や動画をクリックすると、表示／再生ウィンドウが表示されます。

   2D 映像として撮影した写真や動画は 2D として、3D 映像として撮影した写真や動画は 3D として表示／再生されます。



ヘルプを表示

撮影した写真・動画

3D カメラビューアーのその他の機能については、ヘルプをご覧ください。

3D 機能が使えないときは

3D 機能がうまく使えないときは、次の方法で問題を解決してください。

■ カメラの映像が上下逆になっている

「カメラの初期設定をする」(→P.13)をご覧になり、3D カメラの初期設定を行ってください。

■ 視聴する位置やパソコンの向きを変えたら、3D に見えなくなった

「3D 表示機能をお使いになるうえでの注意」(→P.5)をご覧になり、最適視聴位置で 3D 表示をご覧ください。

視聴する距離が変わった場合は、「カメラの初期設定をする」(→P.13)をご覧になり、3D カメラの初期設定を行ってください。

■ 視聴する位置やパソコンの向きを変えたら、立体映像が二重に見える

「3D 表示機能をお使いになるうえでの注意」(→P.5)をご覧になり、最適視聴位置で 3D 表示をご覧ください。

視聴する距離が変わった場合は、「カメラの初期設定をする」(→P.13)をご覧になり、3D カメラの初期設定を行ってください。

3D 機能をお使いになる方へ

B5FH-D612-01-00

発 行 日　　2010 年 6 月

発行責任　富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

Printed in Japan